

戦略的創造研究推進事業 (CREST・さきがけ・ACT-X)

制度紹介

2025年4月



科学技術振興機構

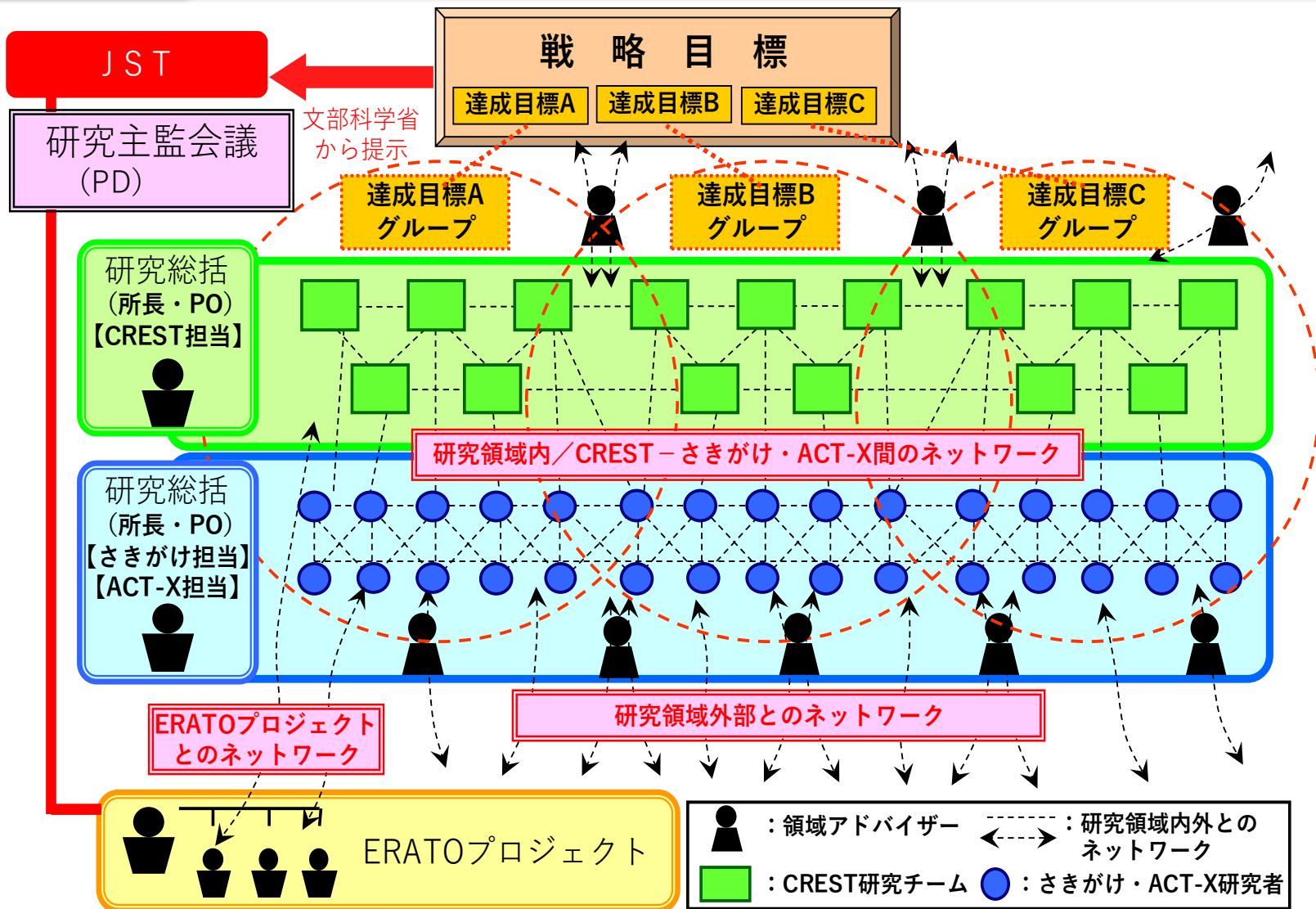
戦略的創造研究推進事業とは

国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズ等を踏まえて、
国(文部科学省)が戦略的な目標(戦略目標)を設定

JSTにおいてネットワーク型研究を推進

- JSTは戦略目標の達成に向けて、戦略的な基礎研究を推進し、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションを生み出す、新たな科学知識に基づく革新的技術のシーズを創出する。
- 戦略目標の下に、推進すべき研究領域とその責任者である研究総括(プログラムオフィサー)を設定。研究総括は、産・学・官の枠を超えた最適な研究者・研究課題を編成(ネットワーク型研究所)し、戦略目標の達成に向けた研究領域運営を行う。
- 研究者は、研究総括の運営のもと、他の研究者や研究成果の受け手となる産業界や広く社会の関与者とのネットワークを構築しながら、研究を推進する。

科学技術イノベーションの創出へ



CREST・さきがけ・ACT-X『ネットワーク型研究所』の標準的モデル

CREST

(Core Research for Evolutionary Science and Technology)

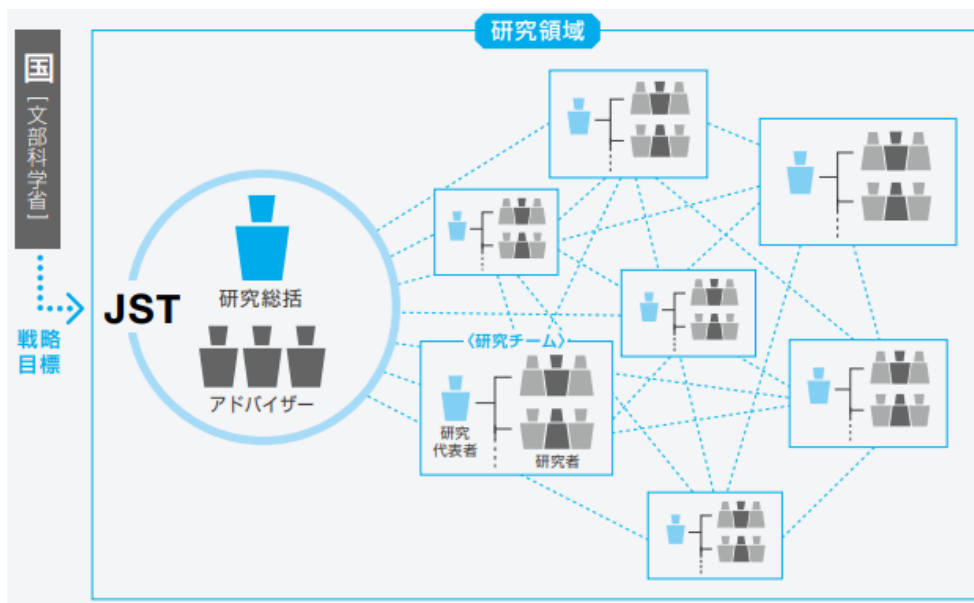
科学技術イノベーションにつながる卓越した成果を生み出すネットワーク型研究（チーム型）

- 戦略目標の達成に向けて、独創的で国際的に高い水準の目的基礎研究を推進
- 科学技術イノベーションに大きく寄与する、新たな科学的知識に基づく創造的で卓越した新技術シーズを創出
- 我が国のトップ研究者が率いる複数のベストチームが、チームに参加する若手研究者を育成しながら、戦略目標の達成に向けて研究を推進

研究期間
研究費
(直接経費)

5.5年以内
総額1.5～5億円/チーム

※研究領域により上限の設定が異なる場合がありますので、研究提案募集ウェブサイトをご確認下さい。



さきがけ

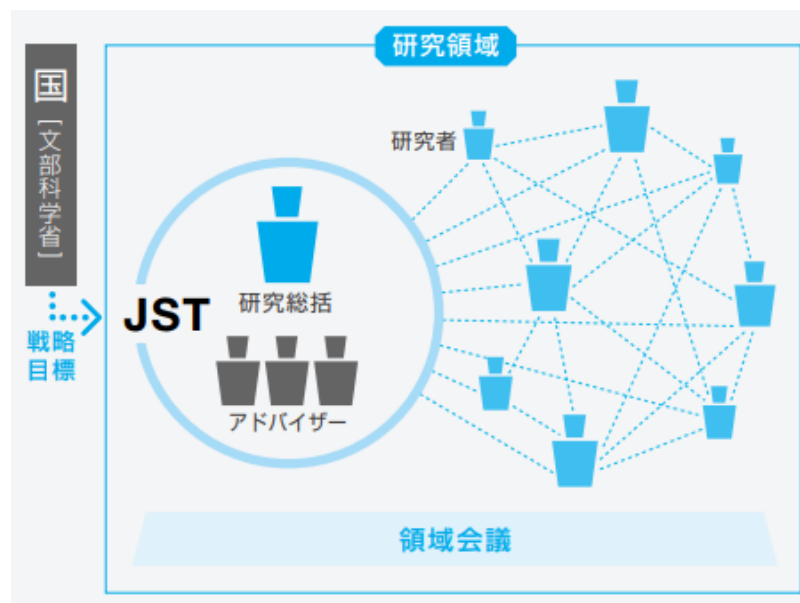
(Precursory Research for Embryonic Science and Technology)

科学技術イノベーションの源泉を生み出す
ネットワーク型研究(個人型)

- 国が定める戦略目標の達成に向けて、独創的・挑戦的かつ国際的に高水準の発展が見込まれる先駆的な目的基礎研究を推進
- 科学技術イノベーションの源泉となる、新たな科学知識に基づく創造的な新技術シーズを世界に先駆けて創出
- 若手研究者が、異分野の研究者ネットワークを形成しながら、若手ならではのチャレンジングな研究を推進

| | |
|---------------|----------|
| 研究期間 | 3.5年以内 |
| 研究費 (直接経費) | 総額3~4千万円 |

※研究領域により上限の設定が異なる場合がありますので、研究提案募集ウェブサイトをご確認下さい。



ACT-X

独創的・挑戦的なアイデアを持つ若手研究者の「個の確立」を支援するネットワーク型研究（個人型）

- 国が定める戦略目標の達成に向けて、**博士の学位取得後8年未満の若手研究者**の自立的で挑戦的な研究を推進

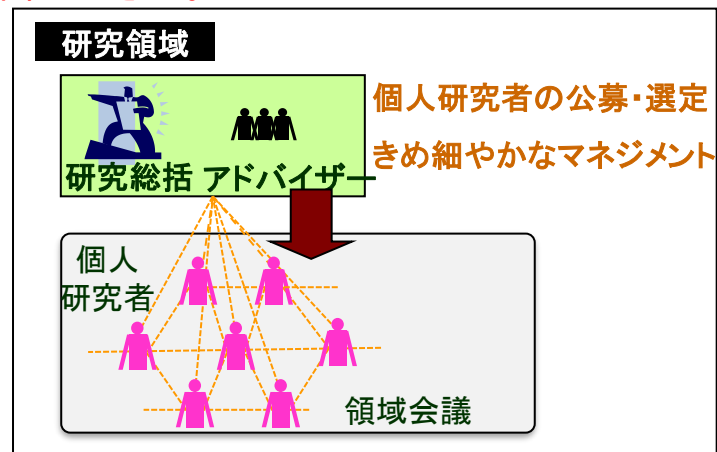
- * 博士の学位未取得の場合は、学士の学位取得後13年未満（学位取得後の産前・産後休暇・育児休業の期間を除く）
- * 上記に関わらず、学生の方は大学院生に限り応募が可能

- 担当アドバイザーがきめ細やかなアドバイス・指導を行い、さきがけ等につながるテーマとして戦略的に育成
- 研究総括やアドバイザーと参画研究者が集まる領域会議等を行い、若手研究者同士の相互のネットワークを形成
- さらなる飛躍が期待される課題は、加速フェーズとして1年間の追加支援（研究開始2年を目処に評価）

※詳細は募集要項第4章をご確認ください

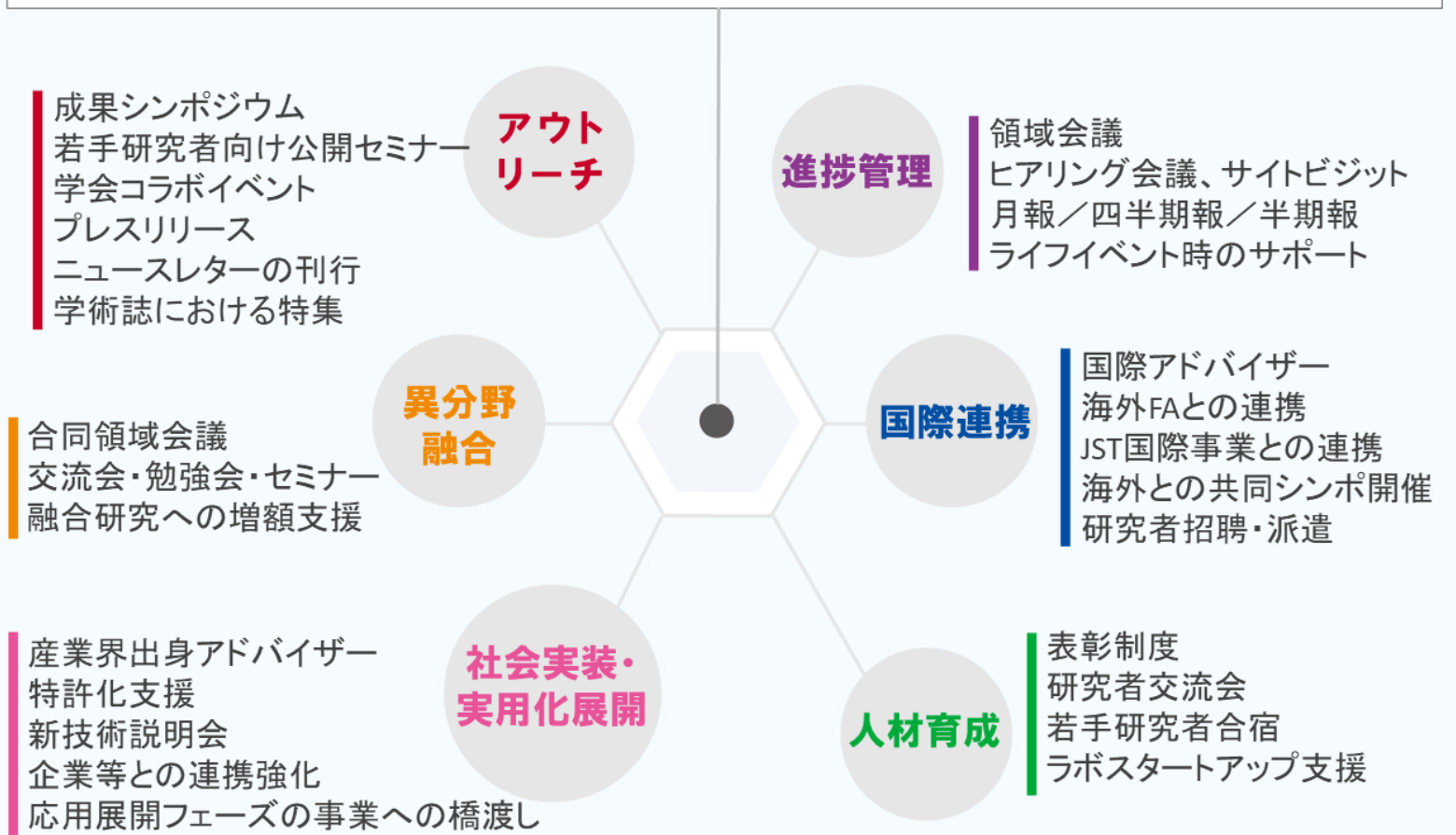
| | |
|---------------|-------------|
| 研究期間 | 2.5年以内 |
| 研究費 (直接経費) | 総額450～600万円 |

※研究領域により上限の設定が異なる場合がありますので、研究提案募集ウェブサイトをご確認下さい。



- * ACT-X実施中でのさきがけへの応募が可能（採択された場合にはACT-Xを早期終了）
- * 大学院生が採択された場合は、自身のRA等経費の申請が可能

各領域・課題の状況に応じ 充実したマネジメントを実施



2016年度に開始した文部科学省「AIP※プロジェクト」のもとで、JST戦略的創造研究推進事業 CREST・さきがけ・ACT-XにおけるAI関連の研究領域を一体的に運営推進 ※ AIP : Advanced Integrated Intelligence Platform

文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

AIPプロジェクト

人工知能/ビッグデータ/
IoT/サイバーセキュリティ
統合プロジェクト

理化学研究所
革新知能統合研究センター
(AIPセンター)

一体的に推進

AIP ネットワークラボ

JST AIPネットワークラボ

ラボ長：江村克己

| | | | |
|------------------------|---|-------------------------|---|
| CREST | | 実環境知能システム (尾形 総括) |  |
| 共生AI学際システム (和泉 総括) |  | 予測数学基盤 (小谷 総括) |  |
| S5基盤ソフト (岡部 総括) |  | 信頼されるAIシステム (相澤 総括) |  |
| バイオDX (岡田 総括) |  | 数理的情報活用基盤 (上田 総括) |  |
| さきがけ PRESTO | | 実世界知能基盤 (原田 総括) |  |
| 研究開発プロセス革新 (竹内 総括) |  | 共生AI基盤 (山下 総括) |  |
| 未来数理科学 (荒井 総括) |  | 人間中心インタラクション (葛岡 総括) |  |
| 社会変革基盤 (栗原 総括) |  | ICT基盤強化 (東野 総括) |  |
| 信頼されるAI (有村 総括) |  | ACT-X | |
| 生命と情報 (杉田 総括) |  | サイバーインフラ (下條 総括) |  |
| 次世代AI・数理情報 (原 総括) |  | AI活用学問革新創成 (國吉 総括) |  |

CREST(2024年度採択率 8.7%)

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|
| 応募数 | 532 | 42 | 574 |
| 採択数 | 45 | 5 | 50 |

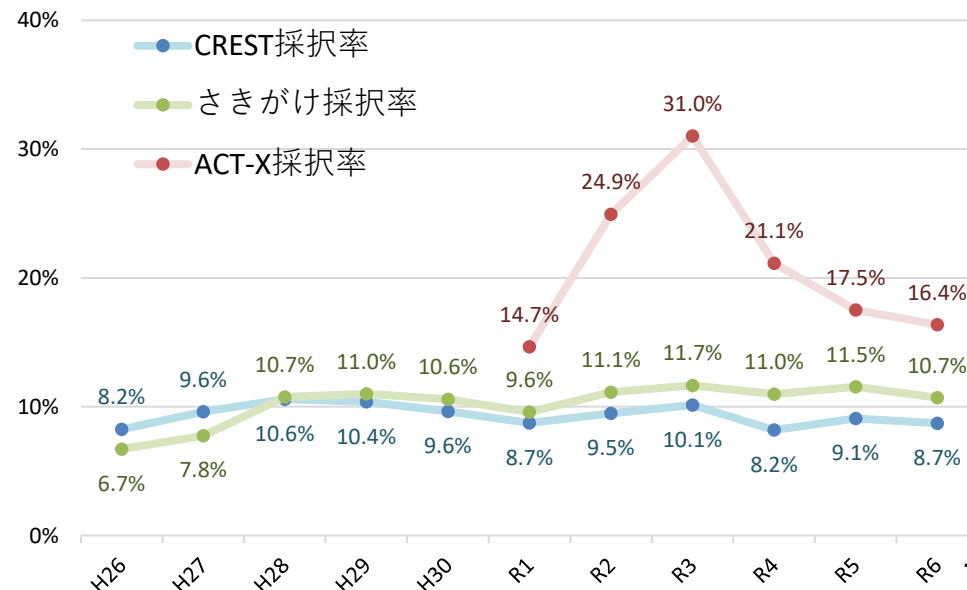
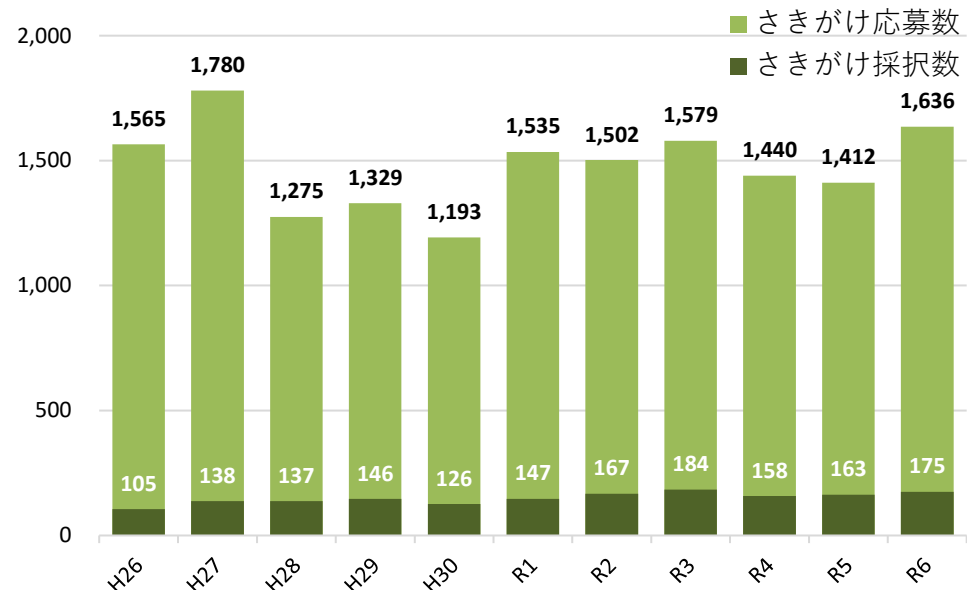
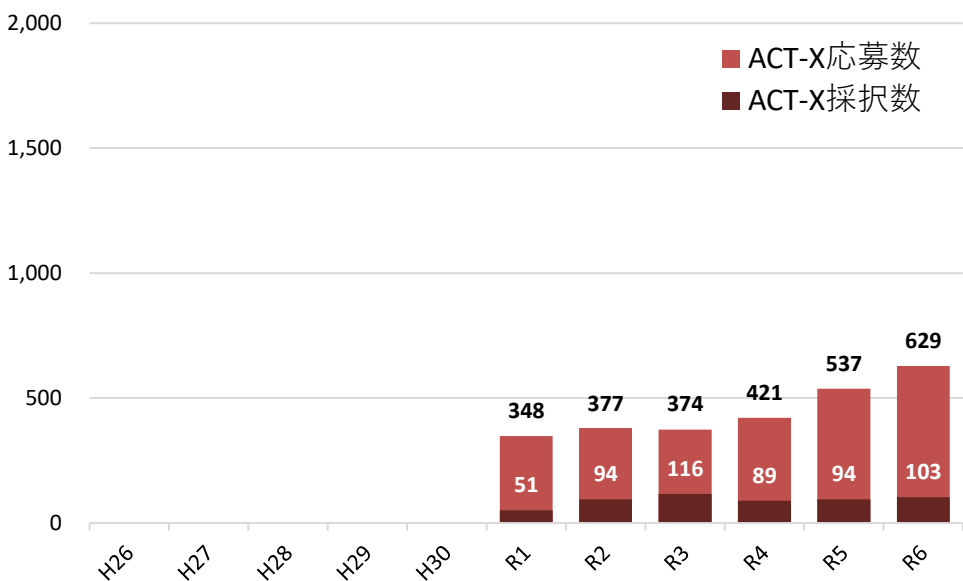
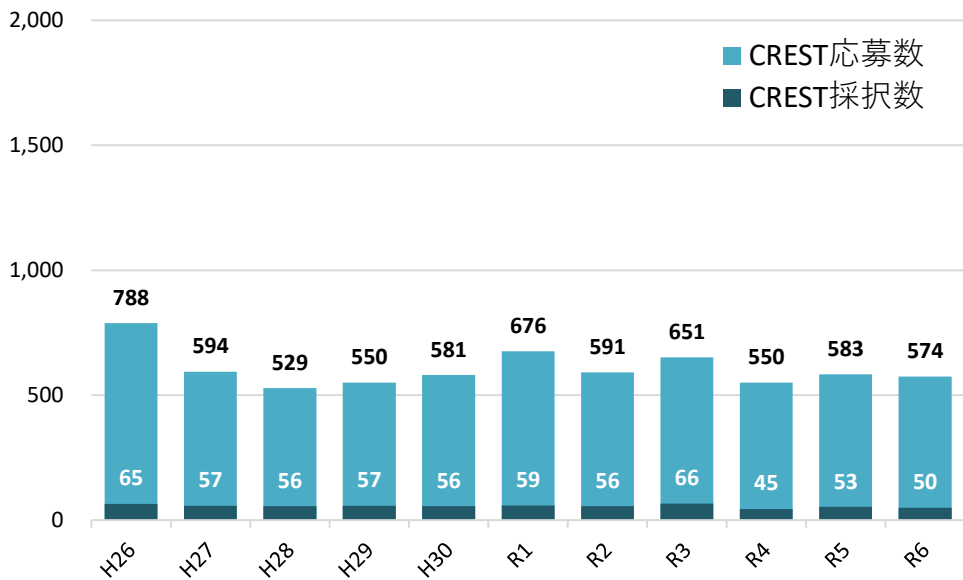
さきがけ(2024年度採択率 10.7%)

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|-------|-----|-------|
| 応募数 | 1,455 | 181 | 1,636 |
| 採択数 | 152 | 23 | 175 |

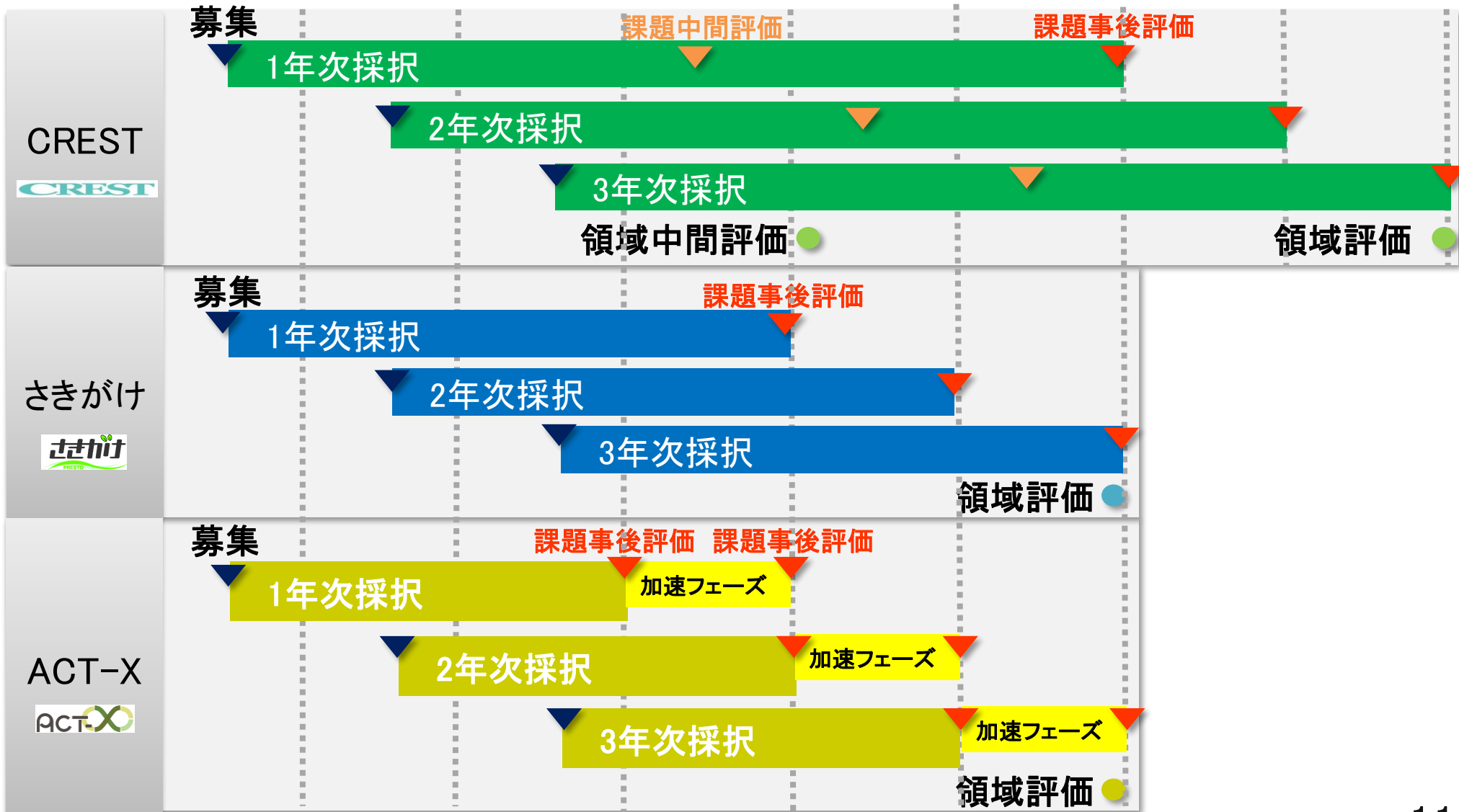
ACT-X(2024年度採択率 16.4%)

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|
| 応募数 | 527 | 102 | 629 |
| 採択数 | 84 | 19 | 103 |

応募数・採択数・採択率の推移



1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | 7年次 | 8年次



募集から研究開始までの流れ

募集

研究領域ごとに研究提案を募集

書類選考

研究総括、領域アドバイザーなどが提案書をもとに面接対象者を選考

面接選考

研究総括、領域アドバイザーによる面接選考

選定

研究総括による選考結果を受け、JSTが研究提案者および研究課題を選定

研究計画
の作成

研究総括等のもと、研究提案者が研究計画を作成

研究契約
の締結

研究者の所属する研究機関と研究契約を締結

研究開始

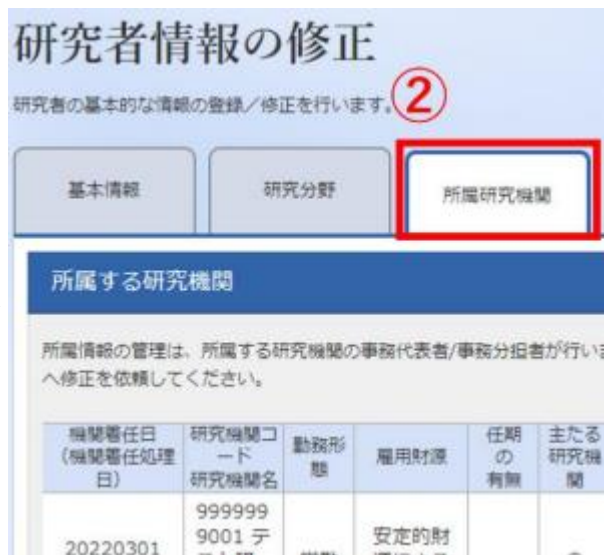
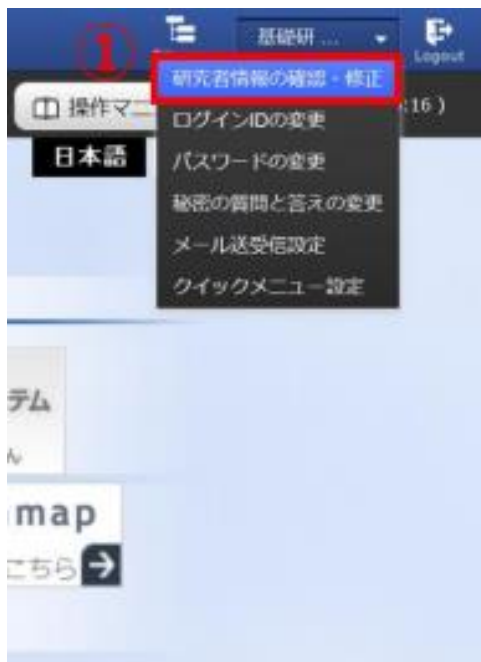
各研究実施場所において、研究を実施

Q

e-Radから応募する際に「研究インテグリティに関する誓約をしていない研究者が参加しているため、応募できません」というエラーが出てくるのですが、対処法をご教示ください

✖ 研究インテグリティに関する誓約をしていない研究者が参加しているため、応募できません。(エラー件数: 1件)

A 以下をお試し下さい(CRESTの場合は、主たる共同研究者も必須)



募集領域と締切

CREST 12領域

募集 | 6月3日(火)
締切 | 午前12時(正午)さきがけ 15領域
ACT-X 5領域募集 | 5月27日(火)
締切 | 午前12時(正午)

募集締切までにe-Radを通じた応募手続きが完了していない提案については、
いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。

スケジュール

選考期間 6月上旬～8月上旬※

研究開始 10月1日

※面接選考会はオンラインで実施します。

※最新の募集スケジュールは募集HPをご確認ください

- JSTは日仏の科学研究における協力促進を目的に、2017年12月にフランスのANR(国立研究機構)と協力枠組み合意を締結。CRESTの枠組みの中で、日仏研究者による日仏共同研究プロジェクトを支援
- 2025年度のCRESTの提案募集では、以下の2研究領域で通常の研究提案に加えて、日仏共同研究グループによる共同研究提案を募集。

| CREST | |
|---------------------------|---------------|
| ・予測・制御のための数理科学的基盤の創出 | (研究総括:小谷 元子) |
| ・ナノ物質を用いた半導体デバイス構造の活用基盤技術 | (研究総括:齋藤 理一郎) |

<応募・選考の流れ>

1. 日仏の研究代表者で1つの共同研究提案書(英語、CREST-ANR共通書式)を作成
2. 仏側研究代表者がANRへ提案を申請
 - ・ANR申請受付期間: **2025年3月3日(月)～6月2日(月)10:00 CEST**
3. 日本側研究代表者がJST(CREST)へ提案を申請
 - ・通常のCREST提案募集期間中にe-Radを通じて申請してください。
4. ANRとJSTが各々提案の審査を行った後、両機関で協議の上採択を決定。
5. 研究開始<2025年10月以降>

2025年度募集における主な変更点・注意点
(CREST/さきがけ/ACT-X共通)

- 研究提案者が研究総括、副研究総括と利害関係に該当する場合、これまでは選考対象から除外していましたが、2024年度からこの措置を撤廃し、利益相反マネジメントを実施した上で選考対象としています。
- 2025年度から、CREST・さきがけ・ACT-Xの選考の観点及び提案書様式が変更となります。
- 2025年度から、さきがけにて個人研究者の管理・指導の下に研究の一部を主体的に実施する者として研究員等を研究計画に登録できるようになります。
- 2025年度から本事業で採択された課題においては、本事業により執筆した査読付き学術論文及び根拠データは、学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載が義務づけられます。

研究代表者の要件

※詳細は募集要項第2章をご確認ください

- 研究代表者となる研究提案者自らが、**国内の研究機関に所属して**当該研究機関において研究を実施する体制を取ること(研究代表者の国籍は問いません)。
- 全研究期間を通じ、研究チームの責任者として研究課題全体の責務を負うことができる研究者であること。

※その他、研究倫理教育プログラムの終了や研究不正等への対応を誓約できることなどが要件になります。

研究機関の要件

- 研究機関は、研究を実施する上で、委託研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守するとともに、研究を効率的に実施するよう努めなければなりません。
- 応募に際しては、研究の実施を予定している研究機関の事前承諾を確実に得てください。

研究体制の要件

- 研究代表者の研究構想を実現する上で最適な体制であること。
- 共同研究グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できること。

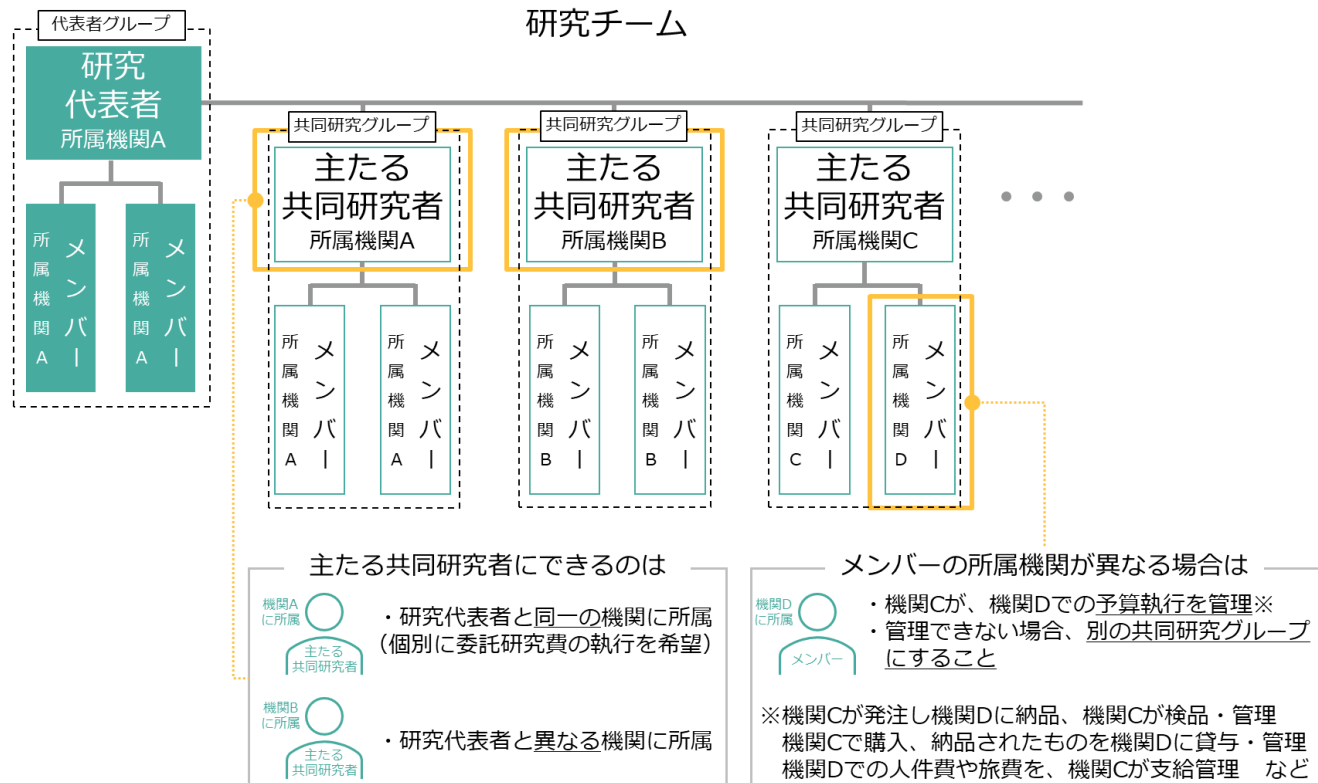
※CRESTの提案にあたっては、原則、海外の研究機関に所属する研究者にJSTからの研究費の提供はできません。

即ち、海外の研究機関に所属する研究者を主たる共同研究者にすることは原則できません。

研究体制の要件(続き)

※詳細は募集要項第2章をご確認ください

- ✓ 複数の組織(研究室、部局、研究機関等)が1つのグループに入っても構いません。
- ✓ ただし「異なる組織に所属するメンバーが執行する研究費の管理を、グループを主宰する研究者(研究代表者、主たる共同研究者)の所属機関が行えること」が必須。この対応が不可である場合は、異なる機関に所属する研究者は別の共同研究グループとすること。
- ✓ 同一機関に所属する場合であっても、個別に経費執行する必要がある場合等は、別の共同研究グループとすること(下図はグループの構成例)。



CRESTの各研究領域に共通の選考基準は、以下の通りです。 ※詳細は募集要項第5章をご確認ください
a.~e.の全ての項目を満たしていることが必要です。

- a.目的・趣旨…CRESTおよび研究領域の趣旨に合致し、研究領域が目指す成果の創出が期待されること。
- b.独創性・優位性…国内外の動向等を踏まえ、提案内容が独創性・優位性を有していること。
- c.目標・計画…実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。
- d.実施体制…提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。
- e.遂行能力…提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。

※研究費の「不合理な重複」ないし「過度の集中」にあたるかどうか、選考の要素となります。
※研究領域ごとの募集方針も合わせてご確認ください。

研究提案者の要件

※詳細は募集要項第3章をご確認ください

- 研究提案者は、個人研究者となる方ご本人であること。
 - 自らが研究構想の発案者であるとともに、その構想を実現するために自立して研究を推進する研究者。
 - **日本国籍を持つ研究者もしくは日本国内で研究を実施する外国籍研究者。**
 - * 日本語による事務処理の対応が可能であること(あるいは対応が可能な環境にあること)も要件となります。
 - 全研究期間を通じ、自身のさががけ研究課題を責任をもって遂行することができる研究者であること。
 - 全研究期間を通じて研究機関等に所属する等し、当該研究機関において研究を実施可能であること。
- ※ その他、研究倫理教育プログラムの修了や研究不正等への対応を誓約できることなどが要件になります。

研究機関の要件

- 研究機関は、研究を実施する上で、委託研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守するとともに、研究を効率的に実施するよう努めなければなりません。
- 応募に際しては、研究の実施を予定している研究機関の事前承諾を確実に得てください。
- JSTに雇用され、**さががけ専任研究者として研究を実施する場合は、JSTと研究機関との間で出向契約を締結**します。このことについても研究機関に事前承諾を得てください。

海外の研究機関での研究実施に関する要件

- 海外の研究機関等で研究実施を希望される場合、海外での研究実施を希望する理由を研究提案書様式7に記載してください。
- 原則としてJSTが提示する内容で共同研究契約を締結しなければなりません。そのことについて、海外研究機関の契約担当部局責任者の事前了承を示す所定の様式(海外研究機関向け/契約締結に関する事前確認様式)を、**面接選考会までに提出**してください。
- 調整期間はJSTが交渉を開始してから原則3ヶ月までとさせていただきます。また、研究者ご本人が海外研究機関の契約担当者への説明等を行う必要が発生する場合があることも予めご了承ください。

※詳細は募集要項第5章をご確認ください

さががけの各研究領域に共通の選考基準は、以下の通りです。

a.～d.の全ての項目を満たしていることが必要です。

- a.目的・趣旨…さががけ及び研究領域の趣旨に合致し、研究領域が目指す成果の創出が期待されること。
- b.独創性・優位性…国内外の動向等を踏まえ、提案内容が独創性・優位性を有していること。
- c.目標・計画…実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。
- d.遂行能力…提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。

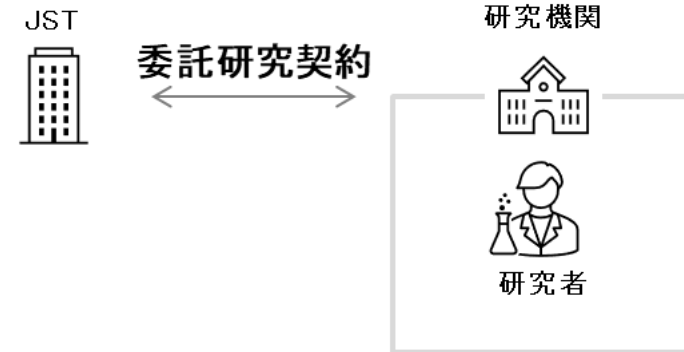
※研究費の「不合理な重複」ないし「過度の集中」にあたるかどうか、選考の要素となります。

※研究領域ごとの募集方針も合わせてご確認ください。

研究機関に所属

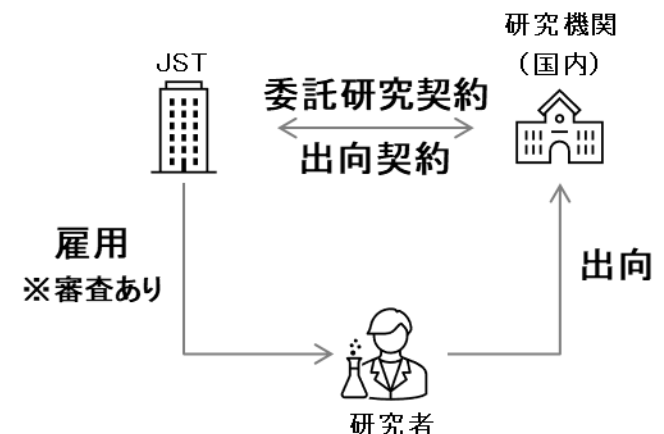
- 採択時に研究機関に所属している方は、その所属機関を委託研究
 - 契約の予定先として、さががけ研究を実施します。所属機関以外で研究を実施することも可能ですが、JSTは実際にさががけ研究費を執行する所属機関と委託研究契約を締結します。
- ※ 2022年4月以降、JSTから兼任研究者として委嘱し毎月一定額の報酬を支給する形態は廃止されました。

※詳細は募集要項第3章をご確認ください



さががけ専任研究者

- 採択時に研究機関、企業等に所属されていない、あるいは所属機関の都合により退職せざるを得ない方をJSTがその必要性を厳格に審査したうえで「さががけ専任研究者」としてJSTにて雇用します。
- 研究実施にあたって、雇用開始日と同日付で、専任研究者を受入先の研究機関・企業等(受入先研究機関)に出向する契約を締結し、専任研究者は受入先研究機関にて研究を実施していただきます。
- 安全衛生管理等の観点から、専任研究者の研究実施機関は国内研究機関のみとし、海外研究機関は対象外とします。
- 受入先研究機関においてさががけ専任研究者に裁量労働制が適用されることが前提となります。



さきがけ 研究体制(領域共通)

* 今年度からの変更事項

※詳細は募集要項第3章をご確認ください

- さきがけは、個人研究者自身による個人型研究を支援する事業であることから、これまで、「研究補助者」のみ研究参加を可能としてきました。
- 一方で、トップサイエンスを志向し、成果を最大化するためには、研究分野や研究内容に応じて研究の実施方法や推進体制が最適化される必要があります。

⇒ 2025年度より、従来の研究補助者に加えて、個人研究者の管理・指導の下に研究の一部を主体的に実施する研究員等を研究計画に登録できるようになります。

| | 研究員等 | 研究補助者 |
|------|---|---|
| 役割 | 個人研究者の管理・指導の下に 研究の一部を主体的に実施する | 個人研究者の指示に基づく研究補助業務(※)を担う ※研究データの収集、解析 研究機器の組み立て、操作、設計、加工 実験、測定 実験器具の洗浄 実験動物の飼育、管理 等 |
| 参加人数 | 同時期に 2名まで | 同時期に5名まで |
| 対象者 | 個人研究者がさきがけ研究を実施する研究機関に所属している者 | 研究機関が雇用する技術員・研究補助員または雇用関係のない学部学生・大学院生 |

研究提案者の要件

※詳細は募集要項第4章をご確認ください

- 研究提案者は、個人研究者となる方ご本人であること。
 - **研究提案者は、2025年4月1日時点で博士の学位取得後8年未満の方であること。**
 - * 博士の学位未取得の場合は、2025年4月1日時点で学士の学位取得後13年未満であること。
 - * 学位を取得後に取得した産前・産後の休暇・育児休業の期間を除くと上記該当年数未満となる者であること。上記に関わらず、学生の方は大学院生に限り応募が可能です。
 - 自らが研究構想の発案者として研究提案書を執筆するとともに、その構想を実現するために自立して研究を推進すること。
 - 修士課程もしくは博士課程在学中の学生が応募する際は、学生及び指導教員等が双方署名の上、JSTの提示する事項を確認したことを示す確認書をe-Radを通じて提出ください。
 - 個人研究者が採択時に日本国内の研究機関において研究を行っており、かつ、ACT-X研究終了まで**日本国内の研究機関において研究を実施することが可能**であること。
 - * 大学院生の方で、2.5年のACT-X研究期間中に卒業を迎える場合、卒業後もACT-X研究継続できるよう上記要件を満たすべく、最大限努める意思があれば応募可能です。
 - * 個人研究者の国籍は問いませんが、日本語による事務処理の対応が可能であること(あるいは日本語による事務処理を支援する要員が居るなど、対応が可能な環境にあること)も要件となります。
 - * ACT-Xでは制度の趣旨を踏まえて採択後の領域会議等を原則として日本語で実施しますので、一定程度の日本語コミュニケーション能力が必要です。
 - 全研究期間を通じ、自身のACT-X研究課題を責任をもって遂行することができる研究者であること。
- ※ その他、研究倫理教育プログラムの修了や研究不正等への対応を誓約できることなどが要件になります。

研究機関の要件

- 研究機関は、研究を実施する上で、委託研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守するとともに、研究を効率的に実施するよう努めなければなりません。
- 応募に際しては、研究の実施を予定している研究機関の事前承諾を確実に得てください。

※詳細は募集要項第5章をご確認ください

ACT-Xの各研究領域に共通の選考基準は、以下の通りです。

a.~d.の全ての項目を満たしている必要があります。

- a.目的・趣旨…ACT-X及び研究領域の趣旨に合致し、研究領域が目指す成果の創出が期待されること。
- b.独創性・優位性…国内外の動向等を踏まえ、提案内容が独創性・優位性を有していること。
- c.目標・計画…実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。
- d.遂行能力…提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。

※研究費の「不合理な重複」ないし「過度の集中」にあたるかどうか、選考の要素となります。

※研究領域ごとの募集方針も合わせてご確認ください。

戦略的創造研究推進事業内における 重複応募の制限について(1)

- 重複応募の制限については、募集要項第7章をよくご確認ください。

応募制限について

- 現在、以下の立場にある方は、CREST・さきがけ・ACT-Xに**研究提案者として原則応募できません。**
 - CRESTの研究代表者
 - さきがけの個人研究者
 - ACT-Xの個人研究者
 - ERATOの研究総括、副研究総括
 - AIP加速課題の研究代表者
 - (革新的先端研究開発支援事業)AMED-CRESTの研究開発代表者
 - (革新的先端研究開発支援事業)PRIMEの研究開発代表者
 - (革新的先端研究開発支援事業)FORCE、LEAPの研究開発代表者

戦略的創造研究推進事業内における 重複応募の制限について(2)

- 重複応募の制限については、募集要項第7章をよくご確認ください。

同時実施について

| 現在の立場 \ 応募先の立場 | | CREST | | | さきがけ | ACT-X |
|----------------|-----------|-------|----------|-----------|-------|-------|
| | | 研究代表者 | 主たる共同研究者 | その他の研究参加者 | 個人研究者 | 個人研究者 |
| CREST | 研究代表者 | ×※ | ○ | ○ | ×※ | × |
| | 主たる共同研究者 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | その他の研究参加者 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| さきがけ | 個人研究者 | ×※ | ○ | ○ | ×※ | × |
| ACT-X | 個人研究者 | ○ | ○ | ○ | ○ | ×※ |

- 現在CRESTの「研究代表者」・さきがけの「個人研究者」は、**研究期間が2025年度に終了する場合に限り、CRESTの「研究代表者」又はさきがけに応募し、実施することが可能です。また、ACT-Xに応募することはできません。**
- 現在CRESTの「研究代表者」は、CRESTに「主たる研究者」又は「その他の研究参加者」として応募することが可能です。
- 現在ACT-Xの「個人研究者」は、**CRESTの「研究代表者」及びさきがけに応募が可能です。ただし、採択された場合は年度末をもってACT-X研究は終了となります(早期終了)。**
- 2025年度のCREST・さきがけ・ACT-Xへの応募が採択候補となった結果、JSTが運用する全ての競争的資金制度等を通じて、**複数の研究課題等へ参加となった場合には、研究費の減額や、当該研究者が実施する研究を1件選択する等の調整を行うことがあります。**調整対象は研究提案者本人に加え、CRESTへの応募の場合は「主たる共同研究者」や「その他の研究参加者」も含まれます。

戦略的創造研究推進事業内における 重複応募の制限について(3)

- 重複応募の制限については、募集要項第7章をよくご確認ください。

同時**応募**について

| 応募先 1 の立場 \ 応募先 2 の立場 | | CREST | | | さきがけ | ACT-X |
|-----------------------|-----------|-------|----------|-----------|-------|-------|
| | | 研究代表者 | 主たる共同研究者 | その他の研究参加者 | 個人研究者 | 個人研究者 |
| CREST | 研究代表者 | × | ○ | ○ | × | × |
| | 主たる共同研究者 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | その他の研究参加者 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| さきがけ | 個人研究者 | × | ○ | ○ | × | × |
| ACT-X | 個人研究者 | × | ○ | ○ | × | × |

- 2025年度に公募を行うCREST・さきがけ・ACT-X・AMED-CREST・PRIMEの中から、研究提案者として1件のみ応募できます。
- 2025年度に公募を行う研究領域又は研究開発領域の中から、研究提案者として1件のみ応募できます。
- CREST・さきがけ・ACT-Xに研究提案者として応募しつつ、CRESTの「主たる共同研究者」及び「その他の研究参加者」として応募することは可能です。
- CREST・さきがけにおいて、2024年度に前年度特定課題調査対象となった研究代表者は、指定領域のみ応募が可能です。

戦略的創造研究推進事業内における 重複応募の制限について(4)

- 重複応募の制限については、募集要項第7章をよくご確認ください。
- 創発的研究支援事業への応募と、CREST研究代表者・さきがけ個人研究者としての応募を並行して行うことは可能ですが、両方を同時に実施することはできません。CREST主たる共同研究者・ACT-X個人研究者については同時応募・重複実施が可能です。
- 現在、研究代表者(個人研究者)として創発的研究支援事業を実施中の場合でも、今回募集しているCREST研究代表者・さきがけ個人研究者としての応募が可能です。CREST、さきがけに採択された後の創発的研究支援事業の研究課題については創発的研究支援事業担当者にご確認ください。

評価基準と提案書様式について

* 今年度からの変更事項

JSTにおける評価の観点をより明確化するとともに、事業間での差異や不統一により生じていた提案者および評価者の作業負担や不便を解消するため、**JSTとして統一化した「評価項目」**を設定し、**これに合わせた「評価基準」「提案書様式」**を用います。

評価項目等の構成：

| 評価項目 | 評価基準（基本） | 提案書様式 |
|---------|---------------------------------------|------------------|
| 目的・趣旨 | 事業等の趣旨に合致し、事業等が目指す成果の創出が期待されること。 | 研究構想 |
| 独創性・優位性 | 国内外の動向等を踏まえ、提案内容が独創性・優位性を有していること。 | 独創性・優位性 |
| 目標・計画 | 実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。 | 目標・実施計画 ／予算計画 |
| 実施体制 | 提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。 | 実施体制 |
| 遂行能力 | 提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。 | 研究・活動実績 |

- CREST・さきがけ・ACT-Xにおける主な変更点
 - ①研究提案の要旨について、基本事項における研究概要として記載分量を削減
 - ②研究構想について、背景・目的、将来展望を中心に小項目を設定せず大括り化
 - ③研究の独創性・優位性について、研究構想の小項目から様式3として独立
 - ④研究期間内の達成目標及び研究計画とその進め方について、研究構想の小項目から様式4として独立

研究領域ごとに研究提案を募集します。

研究提案に際しては、必ず以下の内容をご確認ください。

- 研究領域の概要
- 研究期間、研究費（直接経費）
- 募集・選考・研究領域運営にあたっての研究総括の方針
※研究提案募集ウェブサイトで説明会動画や資料を掲載しています。是非ご覧ください。
- 戦略目標

研究提案募集ウェブサイト

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

即時オープンアクセスについて

* 今年度からの変更事項

※詳細は募集要項第6章をご確認ください

2025年度に新規採択された研究課題より、研究成果となる学術論文及び根拠データを、機関リポジトリ等の情報基盤へ即時に掲載することが義務化されます。

● 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針

(令和6年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定)

(目的)

- 公的資金によって生み出された研究成果のオープン化
- 我が国全体での購読料等の経済的負担の適正化
- 世界に対する研究成果の発信力の向上

● 戦略的創造研究推進事業における対応

⇒実施状況を把握するため、令和7年度から本事業で採択された課題の実績報告等においては、即時オープンアクセスの実施有無等について記入いただきます。

● 以下の文書等もご参照ください。

- [「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」\(統合イノベーション戦略推進会議令和6年2月16日決定\)の実施にあたっての具体的方策](#)
- [学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針、及び学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策に関するFAQ](#)

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)
により受け付けます。

※ログインID、パスワードをお持ちでない方は速やかに研究者登録をお済ませください。

例年、受付時間直前での応募によるトラブルが相次いでおります。

※切に余裕をもって応募いただけるようお願い致します。

※切後は提案を一切受理しませんのでご留意下さい。

※切後に提案の引き戻しを行うと「不受理」となりますのでご注意ください。

※ JSTは、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する様式不備ならびに本文の不備についての一切の責任を負いません。

従って、募集締切時刻までに、JSTは提案者に事前確認のうえでの提案書の訂正、もしくは、提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、予めご承知おきください。

CREST・さきがけ・ACT-X X(旧twitter) **@JST_Kisokenkyu**
においても募集に関する情報を発信しています。



← JST CREST・さきがけ・ACT-I/X
2,281 件のツイート

 戦略研究推進部

フォロー

JST CREST・さきがけ・ACT-I/X
@JST_Kisokenkyu

科学技術振興機構（JST）戦略研究推進部です。CREST、さきがけ、ACT-I、ACT-Xという研究支援プログラムを運営しています。このアカウントでは、公募情報や研究成果、最先端の研究を紹介するシンポジウムの情報などをお届けします。申し訳ありませんが、お問い合わせにはこちらではお答えできません。中の人はいろいろいます。

📍 東京 千代田区 [🌐 jst.go.jp/kisoken/](https://jst.go.jp/kisoken/)
📅 2018年1月からTwitterを利用しています

- 研究提案募集に関するお問合せは電子メールでお願い致します。

問い合わせ専用メールアドレス

rp-info@jst.go.jp

- 研究提案募集に関する詳細は、以下ウェブサイトをご覧ください

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

※書類・面接選考会、選考結果通知の予定等、情報を適宜更新します

募集締切までにe-Radを通じた応募手続きが完了していない提案については、いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。